

全日本テコンドー選手権大会パラ・キョルギの部についての注意事項

1、階級について

世界テコンドー連盟（WT）の規程に準拠したパラテコンドーでは障がいの度合いによるスポーツクラスが4つ（K41、K42、K43、K44）さらに階級が3つ（男子-61kg、-75kg、+75kg、女子-49kg、-58kg、+58kg）にわかれています。今大会では、このスポーツクラス区分は設けません。また、参加選手の人数により、WT規程の階級区分とは異なる区分で階級を分ける可能性があります。（階級区分を変更する場合は、参加申込締め切り後、改めて案内します。）

2、クラス分けについて

上記のとおりパラテコンドーでは障がいの度合いによる区分であるスポーツクラスがあります。必要最小障がいを満たしていない選手は、パラテコンドー選手として国際大会への参加資格がありません。今大会では、当協会主催大会に初めて参加される選手を対象とし、クラス分け審査を行います。

今大会では、当協会の定めた最小障がい基準にそって行いますので、今大会のクラス分け審査で最小障がいを取得していると判断されても、世界テコンドー連盟のクラス分け審査に合格したことはありません。

今後日本代表選手として選ばれ、国際大会に出場する場合には、国際大会時に行われる国際クラス分け審査（インターナショナルクラシフィケーション）を受けなければなりません。この国際大会時におけるインターナショナルクラシフィケーションで「資格なし（NE）」と判断された場合には、日本代表選手資格の取り消しと国際大会派遣にかかった経費（旅費や滞在費など）は個人精算（自費）となります。

3、2021年度強化指定選手選考について

今大会は、2021年度のA強化指定選手の選考大会を兼ねております。選考基準については「2021年度強化指定選手選考基準（パラキョルギ）」をご参照ください。

4、ルールについて

パラテコンドールールは、健常者ルールと同じ場合が多く、違う部分のみ下記に述べます。

- ① 上段（オルグル）禁止、但し相手選手が低い姿勢をとって蹴りがあたった場合は、低く構えた選手が安全ではない行為を犯したとしてカムチョンになる場合がある。
- ② パンチ（中段）は行ってもいいが、ポイントにはならない。
- ③ ティッチャギ3点、ターン4点、その他の蹴りは2点。

パラテコンドローの最小障がい基準

Limb Deficiency (LD), Impaired Passive Range of Movement (PROM) (K40)

肢体不自由 (LD)、障がいのある他動的可動域範囲 (PROM) (K40)

This group includes athletes with limb deficiency and impaired muscle strength, or loss of passive range of motion (PROM).

このグループには、四肢欠損および筋力に関する障がい、または他動的可動域 (PROM) の消失を含む。

The limb deficiency group includes individuals with traumatic amputations or dysmelia.

四肢欠損には、外傷性切断または形成不全を含む。

The impaired muscle strength group includes loss of strength secondary to peripheral nervous system (PNS) damage or a brachial plexus lesion.

筋力に関する障がいには、筋力低下が末梢神経系 (PNS) 損傷または上腕神経叢病変に続発することを含む。

The impaired strength group can also include ambulatory neurological impairments such as mono-plegia, or mild hemiplegia.

筋力に関する障がいには、片麻痺または軽度の片麻痺などの歩行性の神経学的障がいも含まれ得る。

The loss of PROM can be due to joint contractures, joint abnormalities, or soft tissue restrictions.

他動的可動域の消失は、関節拘縮、関節異常または軟部組織の制限によるものである。

Finally, this group could also include loss of great toe, or all of toes in one foot

最後に、このグループには、母趾の欠損、または片脚のすべてのつま先の欠損も含まれる可能性があります。

Minimal Disability Criteria (MDC) Amputation/Dysmelia :

最小限の障がい基準 (MDC) 切断/形成不全 :

- Unilateral amputation, through or above wrist (i.e., no carpal bones present in affected limb).

Arthrodesed wrist joints are not eligible.

片側切断は、手首またはそれを上回る (すなわち、罹患した肢に手根骨は存在しない)。手首関節の関節は、適格ではない。

- Unilateral dysmelia in which the length of the affected arm measured from acromion to finger tip is equal in length or shorter than the combined length of the humerus and the radius of the unaffected arm.

肩関節から指先まで測定された罹患した腕の長さが、上腕骨の長さと同罹患していない腕の半径との長さが等しいか、またはそれより短い片側性の難解症。

Athlete must meet one of the MDC as per below.

競技者は以下のようにMDCの1つを満たさなければならない

1 Must lose three muscle grades – e.g Daniels and Worthington grade 2 cannot complete one heel rise to 25 degrees. In lying may complete full range of motion with resistance.

1、3つの筋グレードを失う必要があります。例えば、DanielsとWorthingtonグレード2は、25度までかかとの上昇を完了できません。嘘つきでは、抵抗のある動きの完全な範囲を完了することができません。

(See Muscle testing Daniels Worthingams 8th edition pp 229, 231)

(筋肉検査Daniels Worthingams第8版、229,231頁参照)

2 Brachial plexus – loss shoulder abduction loss of three (3) muscle grade points of muscle strength and same for shoulder flexion

2、腕神経叢 - 筋力の3つの筋グレード点の肩喪失肩喪失および肩屈曲に対する同じもの

3 Loss of two (2) grade points of muscle strength in elbow flexion and extension

3、肘の屈曲および伸展における筋力の2つの等級点の損失

4 Meets one criteria for PROM restriction in either the lower extremity or upper extremity.

4、下肢または上肢のPROM制限の基準を1つ満たします。

※参考訳とさせていただきます。

パラテコンドーに関する問い合わせ先

全日本テコンドー協会事務局 (japan2005tkd@ajta.or.jp)